

「ファスレーン365」でイギリスの核を廃絶

佐賀大学工学部教授 豊島耕一
toyo@cc.saga-u.ac.jp
電話/ファクス 0952-28-8845

ふくふくプラザ, 07.4.22

1. 2006年1月現在で世界には依然として26,710発もの核弾頭が配備または貯蔵されている[1].

2. 反核運動の新しい流れ

イギリスの反核運動トライデント・プラウシェアズ(Trident Ploughshares, TPと略)は市民の手で直接核廃絶を実行するという点で大変ユニークである.

3. 「市民による核廃絶」に無罪判決

4. 活動の原則とスタイル

合法性の理論の組み立て

1) どの国のものであろうと, 大量破壊兵器は国際法に照らして違法である.

2) さらに一歩進めて, もし市民に対してそれによる差し迫った危険があり, かつそれを防ぐあらゆる穏便な手段が尽きた時は, 市民は自主的にそれを排除する権利と義務を持っている.

3) ニュルンベルグ裁判によって確立された個人責任の原則の活用. ニュルンベルグ裁判では, 違法な命令を拒否しなかった公的立場の人の責任が問われたが, これをさらに一般人にも拡張すべきだと考える.

組織運営: アフィニティー・グループとコア・グループ → HB 23-24 ページ

運営ノウハウ: → HB 25 ページ, 29-30 ページ 「イズムウォッチャー」

5. 支援する会の結成

6. 裁判を「遠隔傍聴」

<<公判の詳細はウェブサイト, または反核法律家協会の冊子>>

地球の裏側からも直接パワーをもらえることを知る.

7. 裁判の余波と高裁審理

8. さまざまな非武器化活動

9. 新プロジェクト ファスレーン365 日本実行委員会を昨年10月に結成

4月現在の賛同団体: 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会, グリーンピース・ジャパン, 原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会, 原水爆禁止日本国民会議, 佐賀県原水協, 佐賀大学教職員組合, 日本科学者会議福岡支部, 日本青年団協議会, 日本反核法律家協会, 反戦情報, ピースボート, 平和事務所

10. 日本では無理か?

→ 辺野古の<<海上座り込み>>ですでに成果. 他方, 単なる「ビラ配り」が「直接行動」とされるという面もある.

11. 科学者の責任

註

[1] 「核兵器・核実験モニター」262,263合併号, 2006年9月1日, NPO法人ピースデポ発行

[2] 以下は別冊のコピーと同じ

最新情報

レベッカ・ジョンソンさんのメモから (The Trident Dispatches No. 6: Reaction to the Vote)

<http://www.thebulletin.org/columns/rebecca-johnson/~20070315.html>

07年3月14日の英下院

409対161でブレアの提案が可決。与党内から88人の造反。また、反対するため政府メンバーを辞任した議員も。スコットランド選出の労働党議員の大半は反対。

与党だけでなく、野党の保守党まで、“three-line whip” (註)で締め付けた結果。(野党が与党案に賛成するために党議拘束をかけるのは異例とのこと)

決してこの問題に決着がついたわけではない。焦点は5月3日のスコットランド議会選挙へ。SNPは結成当初から核兵器に強く反対。多数派であるSLPを追い落とすつもり。

数ヶ月前、SNPリーダーのアレックス・サルモンドは、スコットランドの道路を核弾頭が通る時、弾頭あたり百万ポンドの「危険税」を同党が考えていると発言。

ロンドンにさっそく、国防と外交は国の専権事項と反論。

これに対してSNPは、'Prevention of Crimes Committed by Weapons of Mass Destruction (Scotland) Bill 2007' を選挙後に提案すると応酬。これはスコットランドへの核の配備を違法とするもの。

この政策はスコットランド国民の強い支持がある。世論の80%がトライデント反対。(全英では59%)

(註)(リーダーズ英和)

whip

【議会】 院内幹事 (=party ー) 《自党議員の登院などを督励する》； *登院命令(書)； 《党の》 紀律, 指令。
・a one[two, three]-line ー *《採決の際など党議員に出す》 登院要請[登院命令, 登院厳重命令](書)。